

## 「バスで楽しく温泉めぐり」

<概要>観光地である別府市の観光客の減少から、観光客の増加と不便な移動手段の改善を目標とし、都市計画を行った。それと同時に、観光客だけではなく市民にもやさしい、観光客と市民の交流を図ることができるような公共の交通機関を提案した。別府市のいいところをすべて見て回ってもらい、また別府に来たいというリピーターを増やす事がこの都市計画の目的です。

<本文>

私の生まれ育った別府市は、面積 125.295 k m<sup>2</sup>・人口約 12 万人、県庁所在地である大分市に隣接する小さな市です。古くから「別府八湯」と呼ばれる温泉群が点在し、全国的にも有名な観光温泉地として知られています。昭和 25 年には「別府国際観光温泉文化都市建設法」の制定により、別府市は、国際文化の向上と世界の恒久平和の達成に重要な役割を果たす都市として位置付けられ、以来、別府駅の高架化、国道 10 号の拡幅、九州横断道路（やまなみハイウェイ）や大分自動車道の開通、宇佐別府道路、大分空港道路の建設、国際観光港の整備等々、基幹交通網の整備により、着実に発展を続けています。

しかし、観光客の数は年々減り続けており、以前に比べて街のにぎわいもおとなしくなってきたように私はおもえます。小さいころ両親に連れられて、夜に別府駅前の道や商店街を歩いたとき、旅館の浴衣を着た観光客がたくさん歩いていたのを今でも覚えています。しかし、今はそれほど見かけません。最近、大分の温泉というと、全国的にも別府より湯布院といった感じで、観光客はみんな湯布院に流れてしまうのです。

私も湯布院によく行きますが、すごくいいところです。休日の湯布院はすごくにぎわっていて、どこの駐車場も満車で車が止められなかったりします。お土産屋さんの中も、食事をするところも人がいっぱいです。湯布院は街全体が活気にあふれているような気がします。別府も休日は、平日より観光客でにぎわっていますが、湯布院ほどではありません。別府にもいいところはたくさんあるので、湯布院に負けないくらい観光客を呼びたいのです。

でももし私が県外に住んでいて、電車で別府に旅行に来たとすると、きっと観光スポットまで行くのにすごく困ると思います。別府駅の周辺にも温泉はあるのですが、色んな温泉が市内に点在しているし、有名な地獄めぐり、別府の景色が一望できるグローバルタワー、鉄輪の湯けむりなどは駅からだいぶ離れたところにあるのです。しかも地獄めぐりは一つ一つが離れたところにあるので、全部を歩いてまわるのは無理です。別府駅からバスがでていますが、一時間に 1 本 2 本です。別府駅で自転車のレンタルやレンタカーのサービスもしているみたいですが、観光客のほとんどは高齢の方だし、別府は海と山に挟まれた、坂の多い町なので自転車のレンタルはあまり意味のないように思えます。その点、湯布院は自転車で大成功していると思います。湯布院で自転車をレンタルしている若い観光客をたびたび見かけます。別府も客層にあった、観光客のための何か良い交通手段はないのでしょうか。ツアーのお客さんだったら、バスが観光スポットに連れて行ってくれますが、個人で訪れた方だったら、レンタカーを借り

る以外、バスに乗るか、タクシーに乗るしかありません。バスだったら、本数が少ないので旅行中の貴重な時間のタイムロスになるかもしれないし、知らない土地なので、観光スポットから観光スポットへというのが困難になるでしょう。タクシーは、バスに比べてお金がかかってしまいます。経費はなるべく安くすませたいはずです。



写真1 別府のゆけむり



写真2 グローバルタワー

そこで私にこんな考えが浮かびました。車で来ていない観光客のために、別府の観光スポットを順次回っていくバスを開通させるのです。毎日運行していると、需要がそれほどないかもしれないので、土・日・祝日に1時間に2本ずつ別府駅から出発してグローバルタワー、地獄めぐり、鉄輪温泉、別府駅周辺の温泉を回ります。好きなところで降りられるようにすれば、ツアーとは違って、自分たちが行きたかった所に好きな時間いることができるし、次の目的地へ行きたいときや旅館に帰りたいたいときも、そのバスが1時間に2本出ているので自由に乘ってまた好きなところで降りればいいのです。そして、別府市民も同じように乗れるようにするといいと思います。別府はバスが少ないので、市民も助かると思います。バスの中でも、観光客が実際に住んでいる人に名所を聞いてみることもできるし、もしかしたら穴場スポットを教えもらえるかもしれません。市民と観光客の交流もきっと観光客の人たちにとっては、良い思い出になると思います。ただし、あくまでも観光客専用のバスなので、市民は普通のバスに乗ると同じ料金にして、観光客の人には、乗ると「特典あり」ということを宣伝してみると利用してくれる人も多くなるでしょう。

具体的な特典というのは、たとえば、別府には「別府八湯本」という1冊300円の温泉ガイドがあり、その本を買くと温泉が割引になったり、各地の温泉でスタンプを押せるようになっていて温泉パスポートとして大変人気があるのですが、それを持っていると1回100円で乗れるようにするとか、500円で1日乗り放題券が買えるようにしたりするといいかもしれません。このバスサービスを宣伝すれば、別府に旅行に来てくれる人が増えてくるような気がします。お年寄りにも若者にもすごく助かるサービスだし、車以外の交通機関で別府にくるということは、交通渋滞も防げるということになります。そのバスは見た目も普通のバスとは違うと判るように色も形も工夫して、そのバス専用のバス停も観光客がすぐわかるような、別府らしい、バス停で記念写真を撮りたくなるようなものにするともっと良いと思います。

別府に住んでいると不便な事があります。坂だらけで自転車に乗れないということです。私

の家は高速道路入り口に近い、別府でいうとすごく上の方なので、自転車に乗って海の近くにある駅の方まで行けません。行きの下りはいいのですが、帰りの上りはきつすぎて大変です。だから通学するのに、バスか両親に駅まで送ってもらうしかないのです。そのうえ朝は高校生も自転車に乗らない子が結構いるので朝は混んでいて大変です。朝と下校時間だけでいいので、少しバスを増やしてほしいと思っています。

別府に観光にきたら、大分市にある水族館「うみたまご」にも寄るかもしれないし、「うみたまご」に行った観光客が別府に遊びにきてくれるかもしれません。「うみたまご」はとても人気があるらしくて、休日のたびに別大国道は渋滞です。これにはすごく迷惑しています。休みの日に別大国道を通過して、両親と買い物に車で大分市に行くとき、いつもの倍以上の時間がかかることもあります。「うみたまご」は電車で行くにも西大分駅と東別府駅の真ん中で、どちらで降りてもとても歩いてはいけないので、「うみたまご」に行く人はほとんどが車です。夏は、田ノ浦ビーチに海水浴に行く人のためにも交通渋滞もあります。東別府駅と西大分駅の間は電車で約10分ですが、わたしはその両駅の間の一つ駅を作ると交通渋滞はかなり減ると思います。田ノ浦ビーチに行くにも、「うみたまご」にいくにも車でないといけなかったのですから、車を持ってない人もいけるようになって、一石二鳥だと思います。

別府市をもっと活性化させるためには、今より便利な、かつ料金も安い公共の交通手段を考えるべきだと、私は思います。老若男女問わず、気軽に足を運べるような別府市になってほしいと念願しています。



写真3 竹瓦温泉



写真4 別府タワー

参考文献：別府市役所ホームページ <http://www.city.beppu.oita.jp/>